

# 理 科

## 1 理科を学ぶ意義

私たちのまわりにはたくさんの自然現象があふれています。これらの現象に興味をもち、観察や実験を行いながら、科学を探求し、理解を深めることが大切です。

理科の学習では観察や実験を通して、筋道を立てながら科学的に調べて答えを出す力を伸ばしていきます。日頃からいろいろなことに興味をもち、「なぜ？」という疑問を大切にしながら、探究心をもって授業に臨みましょう。

## 2 授業の受け方

### (1) 授業の準備はしっかりしよう

教科書、ノートなど授業に使うものは忘れずに準備する心がけが大切です。忘れ物をすると、学習活動にきちんと取り組むことができず、授業内容も十分に理解することができません。また、休み時間に授業の準備をきちんとするとともに、理科室での授業の際は、余裕をもって移動しておきましょう。

### (2) 積極的に授業に取り組もう

挙手や発言を積極的に行いましょう。自分の考えをきちんとまとめ、発表することはとても大切なことです。また、他の人の意見を聞くことで、自分の考えの幅が広がります。わからないことも積極的に質問をして理解を深めてください。

### (3) 学習の記録を残そう

黒板に書いた内容をただ書き写せばいいというものではありません。どこが重要なのか考えながら、復習する時にわかりやすいように自分で工夫してノートを取りましょう。また、先生が説明した重要ポイントや自分で気付いたことをメモしておくことで、理解の深まりや新たな発見につながります。授業で使ったプリントなどは、きちんと取っておきましょう。教科書やノートの大事なところにアンダーラインを引いておくことも非常に大切なことです。

### (4) 観察・実験について

- ①観察や実験を通して、どんなことを明らかにするのか目的をもって取り組みます。
- ②結果を予想し、実験を進め、実験結果は必ず記録するようにします。
- ③実験結果からわかることをしっかり考えてまとめます。
- ④常に安全に実験操作を行うように心がけましょう。精密機器、ガスバーナー、薬品の扱いには十分に注意しましょう。
- ⑤ビーカーや試験管などの扱いにも十分に注意しましょう。壊した場合、すぐに先生に報告し、指示に従いましょう。
- ⑥班で実験を行う時は協力して行おう。
- ⑦準備・後片付けを含めて実験です。班員と協力しながら、進んで取り組もう。

### 3 家庭学習について

- (1) その日のうちに教科書やプリントを読み返し、復習しよう。
  - ①実験の目的、結果、考察を見直して、しっかり理解を深めよう。
  - ②実験操作の方法や実験上の注意点もきちんとおさえておこう。
- (2) 重要語句を整理して覚えるようにしよう。その際、語句の意味もきちんとおさえること。
- (3) 練習問題（ワークなど）に繰り返し取り組んで、理解の定着を図ろう。
- (4) 本やインターネットなどで興味のあることを積極的に調べてみよう。

### 4 評価について

#### ○関心・意欲・態度

（自然の現象に興味・関心をもって、意欲的に探究しようとしているか。）

授業に取り組む姿勢、授業中の発言、観察・実験への取組やワークシート・レポートなどの提出から判断します。

#### ○思考・判断・表現

（目的意識をもって観察や実験を行っているか。課題を論理的に考えて分析し、考察しているか。）

結果からわかったことをしっかりとまとめ、発表することができるか。）

観察・実験への取り組みの様子、授業での発言・発表、ワークシートやレポートのまとめ方や記載内容、テストなどから総合的に判断します。

#### ○技能

（観察や実験を正しい方法で行うことができるか。また、工夫して行うことができるか。）

観察や実験の操作の様子、ワークシートへの記載内容、テストなどから総合的に判断します。

#### ○知識・理解

（自然の現象について基礎的事項を理解し、知識として身に付いているか。）

主に各種テスト（小テスト、単元テスト、期末テストなど）で判断しますが、授業中の発言・発表、取組の様子なども含めて総合的に判断します。

### 5 その他

- ・理科は積極的に授業に参加しなければ、楽しさはわかりません。実験や観察などはもちろんですが、教室で行う活動（個人で考えたり、友達と話し合ったり・・・など）にも意欲的に取り組みましょう。
- ・理科で学習する内容は、すべて身の回りの現象につながっています。日頃から自分の周りの出来事に興味・関心を持ち、疑問を解決しようとする気持ちを大切にしていきましょう。
- ・たくさん自然に触れ合いましょう。
  - ・科学館や博物館などを積極的に見学してみましょう。